

ふう けい ま こう
風景紀行
戸隠高原
 59
 北信森林管理署
 (各署の景勝地等を紹介)

長野市の奥座敷戸隠高原

〔北信署〕 長野市の北部に位置する標高約千百以上の戸隠高原は、市内から車で六十分ほどに位置し、自然を満喫できる場所であることから、長野市の奥座敷として親しまれています。

戸隠高原の大部分は国有林で、この高原を代表する山が北西部に連座する戸隠国有林にある戸隠山です。遠い神世の昔、「天の岩戸」が飛来して山と化したともいわれ、八方睨（一、九一）を主峰として険しい峰が連なり、絶壁の急崖が容易に人を寄せつけないことから、平安時代の古くから修験者の修行の山として信仰を集めてきました。

麓の登山道の入口近くには、山の神々を祀る戸隠神社の一つである奥社があり、里の中社、宝光社ともども多くの参拝者や観光客が訪れています。

高原一帯はハンノキ、ヤチダモ、ハルニレ、ブナなどの原生林やシラカバ、ミズナ

ラ、カラマツといった様々な林が広がり、湿原や池沼では、五月の雪解けを待つてミズバショウやリユウキンカ、ミツガシワなどの植物が季節を追って咲き始めます。

多種多様な植物が生育していることやエナガ、コガラなどの野鳥の種類が豊かなことから、自然休養林や野鳥生息地保護林、緑の回廊「雨飾・戸隠」として指定しており、森林植物園や森林教育施設も充実しています。毎年、地元中学生による巣箱掛けやガールスカウトによる育樹作業など森林教育も実施されています。

また、高原の北東部に位置する瑠璃山の山麓では、スキー場として国有林の活用を図っており、レクリエーションの場としても楽しむことができます。

このほか、冷涼な環境からおいしい蕎麦の産地として全国的にも有名で、秋の収穫期には蕎麦祭りも開かれています。

戸隠高原は、このように年間を通して自然や歴史にふれあうことができる場所です。長野市へお越しの際は、少し足をのばして戸隠高原の魅力を感じてみてはいかがでしょうか。

◆アクセス方法

○マイカー

・ 上信越自動車道長野インターから

戸隠バードライン経由で約六〇分

・ 上信越自動車道信濃町インターから主

要地方道信濃信州新線経由で約四十分

○JR及び公共交通機関

長野駅から川中島バスで約六〇分



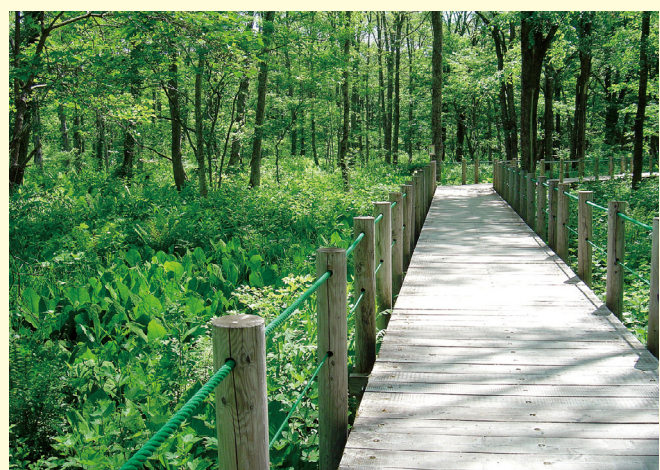
荒々しい戸隠山と鏡池



ミズバショウの咲き誇る戸隠森林植物園



中学生による巣箱掛け



戸隠森林植物園内のバリアフリー歩道